

新市の飛躍を目指して

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

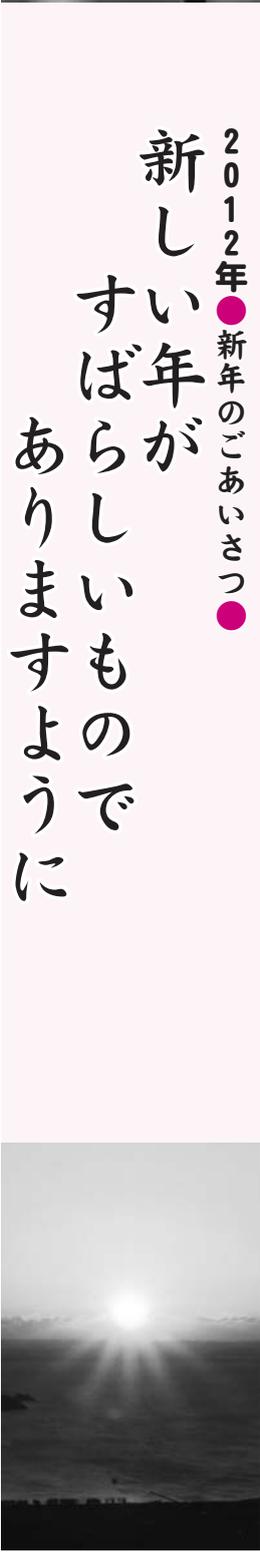
さて、西尾市にとりまして合併元年となる昨年は忘れられない年となりました。3月11日に発生した東日本大震災は未曾有の被害をもたらした。原発事故はいまだ収束する見込みも立っておりません。改めて自然の恐ろしさを痛感するとともに、自然破壊に対する人類への警鐘を感じざるを得ません。

また、欧州をはじめとする金融不安は、ますます深刻さを増し、ギリシャやイタリア国債の大暴落は、EU諸国の関係悪化を招きました。

一方、国内では、戦後最高値を記録した円高が慢性的に続く中でタイの大洪水が重なり、経済界に大打撃をもたらしたのは記憶に新しいところです。さらに、本年度末には、国の借金が1000兆円を突破すると見込まれており、日本を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いています。

日本は、欧州財政危機を「対岸の火事」と見ることなく、「他山の石」としなければなりません。

新市が発足して9か月が経ちました。この間、観光や特産品振興をはじめ、企業誘致や自治体間交流の広がりなど、さまざまな分野で合併効果を感じるようになりました。市民の皆さまに「合併してよかった」、「西尾に住んでいてよかった」と言っていただけに、当面の間、新市の礎づくりに努めるとともに、



2012年●新年のごあいさつ
新しい年が
すばらしいもので
ありますように

新市の発展に向けて

明けましておめでとうございます。平成24年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆さまには、日頃から議会の運営に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災や西日本を中心とした広範囲の記録的豪雨により、甚大な被害が発生し、多くの尊い命が犠牲となり、「災害列島・日本」の現実を思い知らされました。また、原子力発電所の事故などに

より、避難生活を余儀なくされている被災者の方々に、心からお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興と安心できる生活が戻りますよう心から願っております。

さて、各地で推し進める声が高まっている地方分権は、地方の独自性あふれる政策を進めることが期待されています。しかし、歴史的な円高が経済に深刻な影響を与え、税収の大幅な改善は見込まれない中、少子高齢社会の進行により社会保障費が

増大し、財政を圧迫するなど、各自治体には多くの課題が山積している状況であります。

西尾市においては、長年の夢でありました幡豆郡3町との合併が実現し、多くの資源を生かした新たなまちづくりの第一歩を踏み出したところであります。市民の皆さまと協働して困難を乗り越えるため、議員全員が結束して、努力してまいりたいと考えております。本年も決意を新たに、新市の発展



西尾市長
榊原康正

将来への飛躍に向かって全精力を傾けてまいりますので、子や孫の代のためにも、新市のまちづくりに対し、ご理解ご協力をお願い申し上げます。最後に、市民の皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。



西尾市議会議長
新家喜志男

に向け、さらに精進してまいりますので、格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまにとつて実り多い1年になりますようご祈念いたしまして、年頭のあいさつとさせていただきます。